

# グリーンベルト及び周辺の活用に係る意見交換会

## 1. 目的

まちの顔エリア内の住民(町内会)に対し、ちとせ未来ビジョンの内容や令和5年度の調査結果、今後の想定しているスケジュール等を共有し、グリーンベルト及び周辺のハード・ソフト面の取組について理解促進を図ることを目的とする。

## 2. 日時

令和6年4月26日(金) 18:00~19:30

## 3. 場所

千歳商工会議所2階 大会議室

## 4. 主催

千歳市(商業労働課)

## 5. 進行

ちとせエリアプラットフォーム 中塚 茜氏(おしごと部ちとせ 代表)

## 6. 参加者数

16名

## 7. 内容

①開会	
②主催者挨拶	商業労働課長からの挨拶
③進行挨拶	中塚氏からの挨拶
③自己紹介等	参加者数名ごとにグループを分けてグループトーク(氏名・所属・グリーンベルトでの思い出・グリーンベルトの理想像について)
④話題提供	商業労働課主査によるプレゼンテーション ※ちとせ未来ビジョンの内容や令和5年度の調査結果、今後の想定しているスケジュール等を共有。
⑤質疑応答	④話題提供の内容についての質疑応答
⑥意見交換	ワークショップ「あなたにとって“居心地が良く、歩きたくなるまちなか”とは？」について
⑦閉会	

## 8. 主な意見

- ・サウンディング型市場調査で提案してくる事業者が、地元のことを深く理解しているかどうか不明であり、地元が取り残されてしまわないか不安である。
- ・グリーンベルトについては市の土地であるため、市が活用のあり方を最終判断できるが、周辺の土地については、地権者が土地の活用を了承してくれるとは限らないので、今後、どう前向きに関心を持ってくれるかが課題だと思う。
- ・今回の事業提案では、こどもの遊び場のほかにも、苔が繁殖しているなどの課題がある河川敷についての高質化についても期待したい。
- ・日常的に賑わいのある場所になってほしい。

## 9. ワークショップでの主な意見

「あなたにとって“居心地がよく歩きたくなるまちなか”とは？」についての参加者から出た意見。

- ・ウキウキするまち
- ・音楽やアートがあるまちなか
- ・イベントを多くやってみること
- ・マルシェ
- ・目的地となる場所になってほしい
- ・若い人、お年寄り、市民、観光客、日本人、外国人、みんなが楽しく交流できる場所
- ・車を気にせず子どもを歩かせられる
- ・夜でも明るい、安心できる
- ・安心安全（こどもが一人でおつかいに行っても不安にならない）
- ・千歳にしかない店（スタバよりまちの喫茶店）
- ・一人でも入りやすいお店がある
- ・気になったお店に気兼ねなく入れる
- ・自分へのご褒美を送れるまち（食事、宿泊、プチ贅沢）
- ・学生が喜んで集まれる場所
- ・こども達の声がたくさん聞こえる
- ・こどもを多く集める方法
- ・スケボーのできるパーク（メムシ公園のような）
- ・こどもが安心して遊べる場所がほしい
- ・若い人たちが来てくれる場所になってほしい
- ・四季の色がある
- ・川（木）のせせらぎの音、鳥の声
- ・散歩するのに快適な歩道
- ・桜並木
- ・草花との距離が近い
- ・居住者や観光客が普段使いできる場所になってほしい
- ・夜のまちのイメージが強いので、昼のまちの顔となるような場所になってほしい

